

事務事業評価シート

(H.30)No.	1006	(H.29)No.	1006
-----------	------	-----------	------

事務事業名	ふるさと応援推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
	総合企画政策室	大西 哲	

会計区分	事業コード	023801
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 総務費	ふるさと応援推進事業	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 企画費	ふるさと応援推進事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5	未来につなぐ自立と協働による市政経営
	基本施策	2	自主自立の市政経営
	施策	3	持続可能な財政運営
重点プロジェクト	1.元気創造プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	財政の自立と安定性のための自主財源の確保と、PRや返礼品の贈呈を通じた“ふるさと名張”の知名度拡大を目指します。
事業内容	平成20年4月の「地方税法等の一部を改正する法律」において、個人住民税における寄付金税制の拡充の方針(ふるさと納税制度)が示されたことを受け、ふるさと納税(寄附金)による支援をまちづくりへの参加手法として整備するとともに、寄付の拡大に向けたPR活動と返礼品内容の充実に取り組みます。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		H.31年度(事業計画)			H.32年度(事業計画)			H.33年度(事業計画)		
	主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> ○寄付拡大に向けたPR等 <ul style="list-style-type: none"> ・ちらしの作成(増刷) ・民間の専用WEBサイトによるPRと申込受付 ・各種イベントや新聞・広告等を活用したPR ○返礼品の贈呈と内容充実 <ul style="list-style-type: none"> ・とれたて名張交流館等関係団体との連携による返礼品の内容充実 H29寄附実績 <ul style="list-style-type: none"> ・件数 1,044件 ・寄附額 38,137,211円 		<ul style="list-style-type: none"> ○寄付拡大に向けたPR等 <ul style="list-style-type: none"> ・ちらしの作成(増刷) ・民間の専用WEBサイトによるPRと申込受付 ・各種イベントや新聞・広告等を活用したPR ○返礼品の贈呈と内容充実 <ul style="list-style-type: none"> ・とれたて名張交流館等関係団体との連携による返礼品の内容充実 		<ul style="list-style-type: none"> ○寄付拡大に向けたPR等 ○返礼品の贈呈と内容充実 			<ul style="list-style-type: none"> ○寄付拡大に向けたPR等 ○返礼品の贈呈と内容充実 			<ul style="list-style-type: none"> ○寄付拡大に向けたPR等 ○返礼品の贈呈と内容充実 	

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		12,357千円		21,395千円	20,000千円	20,000千円	20,000千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他(繰入金)		12,357		21,395	20,000	20,000	20,000
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人工数							
職員		0.46人		0.53人	0.50人	0.50人	0.50人
臨時職員等		0.00人		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	0千円	3,404千円	0千円	3,922千円	3,700千円	3,700千円	3,700千円
①+②総事業費	0千円	15,761千円	0千円	25,317千円	23,700千円	23,700千円	23,700千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)	<p>イベント参加、市広報、都市圏で配布される新聞広告等を活用し、PRの強化を図りました。また、とれたて名張交流館、名張市観光協会、名張市物産振興会との連携による返礼品の拡充にも努めました。また、あわせてふるさと納税のPRや返礼品の全国の寄附者への贈呈を通じた、名張市のPRを行う事もできました。しかしながら、寄付金額は前年度の実績を大きく下回り、今後、寄付額の向上に向けた取組を喫緊の課題としており、PR手法の検討や返礼品の更なる充実に努める必要があります。</p> <p>名張市民への返礼品は、平成29年4月の総務省通知に基づき、11月末をもって終了しました。</p> <p>寄付者の関心が返礼品から寄付金の使途へシフトしている中、クラウドファンディングに関する庁内説明会を開催し、制度の周知と活用の促進に取り組みました。</p>
------------------------------------	---

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	<p>関係団体、事業者との連携により、返礼品の充実に努めます。</p> <p>民営のふるさと納税総合サイトの限定プランを活用し、PR強化に取り組みます。</p> <p>クラウドファンディングの庁内への周知と活用の促進に取り組みます。</p> <p>寄付額の向上と業務の効率化を目的に、民間へのアウトソーシングの検討を行います。</p>
--------------------------------------	---

6. 事務事業の取組に関する市の計画

--